

# 教職論

教職課程科目／2 単位／T 授業

担当教員 登坂 学、兒玉 修

■使用テキスト 玉置 崇 著『まるごと教師論』EDUCOM

◆参考テキスト

- ①教育学の辞典・事典（例：『新版 教育小事典 第3版』学陽書房，など）
- ②教育六法（例：『教育小六法』学陽書房など。毎年改訂されるので最新版が望ましい）。
- ③テキスト各章末の「参考文献」欄に掲載された図書などのほか，次のものを参照。
  - （ア）教育科学研究会編『現実と向きあう教育学——教師という仕事を考える 25 章』大月書店
  - （イ）佐藤学著『教師花伝書』小学館

## 講義概要・一般目標

この科目は教員免許取得を希望する人が必ず履修しなければならない必修科目の一つとして教員免許法に定められた科目です。

教育は誰もが日常的に経験することがらであることから、誰でも教育について一言をもっています。しかし、教育される者としての立場で経験したことだけで教育を語ることはできません。教師を目指すには、教えられる者から教える者へと、教育をとらえる視座の大きな転換を経なければなりません。

このような観点から、この科目では、教師とはどうあるべきか、具体的な職務の内容、授業の道標となる学習指導要領、現代教育の諸問題と教師に期待される役割、教員の養成・採用・研修、学校における教員の役割等について、教師を客観的に理解することを目的とします。これらを通して教職に対する意欲を高め、教職という仕事へ向けての視野を広げ、今後の専門科目の学習へと発展的につなげていきましょう。

## 到達目標

- 1) 教師の社会的使命と具体的な職務内容について理解する。
- 2) 教師の仕事の場としての学校制度とその管理・運営について理解する。
- 3) 教員としての研修の権利と義務や遵守事項、身分保障制度などについて理解する。
- 4) 教師の仕事に向けての目的意識を身に付ける。
- 5) 教師になるためにどのような学びと経験を積んだからよいかについて理解し、どのような資質能力を身に付けるべきかについて見通しをつけることができる。

## 評価方法

科目単位認定試験により評価。

## 学習指導

\* 本テキストは教職委に興味を持った人に対して、親しみやすい文体と内容で教師の仕事を紹介しています。ぜひ全編を通読してから添削課題に取り掛かってください。

### 第1章 教師について深める

- 1-1 理想的な教師とは
- 1-2 「教育の名言」から教師を考える
- 1-3 子どもと良好な関係をつくる教師

- 1-4 学級の規律をつくる教師
- 1-5 学級をつくる教師
- 1-6 授業をつくる教師
- 1-7 行事をつくる教師
- 1-8 教職員と良好な関係をつくる教師
- 1-9 保護者と良好な関係をつくる教師

※ 感動の「困ったら回せ」という言葉

## 第2章 学習指導要領を理解する

- 2-1 学習指導要領の背景を知る
- 2-2 社会に開かれた教育課程と学校の変化
- 2-3 学習指導要領に示された授業改善
- 2-4 評価について理解を深める
- 2-5 国語科教育をつかむ
- 2-6 社会化教育をつかむ
- 2-7 算数科・数学科教育をつかむ
- 2-8 理科教育をつかむ
- 2-9 外国語活動・外国語科教育をつかむ
- 2-10 道徳教育・道徳科教育をつかむ
- 2-11 プログラミング教育をつかむ
- 2-12 ICTを活用した教育をつかむ

※ 「いのちの本」コーナー設置で感激

## 第3章 教育問題をとらえる

- 3-1 教育問題「いじめ」をとらえる
- 3-2 教育問題「学力差」をとらえる
- 3-3 教育問題「学級崩壊」をとらえる
- 3-4 教育問題「学校へのクレーム」をとらえる

※ 涙を流しながら抱き合う

## 第4章 教師力向上のために

- 4-1 優れた教師から学ぶ
- 4-2 先輩や仲間から学ぶ
- 4-3 フォーラムやセミナーを開催して学ぶ
- 4-4 異業種から学ぶ

以上